

氏名	村本 徹 (ムラモト トオル)
所属	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科
職名	教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4194 (代表)ダイヤル2301 FAX 01654-3-3354 (事務局) E-mail
ホームページ URL	

学歴	北海道大学工学部建築工学科卒業 北海道大学大学院工学研究科博士課程建築工学専攻単位取得退学
職歴	1980年4月～1990年9月 北海道大学工学部建築工学科助手 1990年10月～1999年9月 市立名寄短期大学生活科学科助教授 1999年10月～2007年3月 同上 教授 2006年4月～現在 名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科教授
学位	工学修士 (北海道大学大学院)
免許・資格	一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級資格
研究分野	農村計画、施設計画、福祉住環境計画
現在の研究課題	福祉住環境整備に関する研究、高齢者福祉の施設計画に関する研究、北海道農村の集落計画に関する研究
主な担当科目	福祉環境論、福祉環境論演習、北海道の生活空間

研究・教育業績	<ul style="list-style-type: none"> ・「散居地域における集住 水沢市常磐集落および網走市南網走地区の事例」農村工学研究 42 (共著)(財)農村開発企画委員会 1986年 ・「図説 集落 その空間と計画」(共著)日本建築学会編 都市文化社 1989年 ・「農業基盤と地域農業」(共著)明文書房 1991年 (1) 北海道農村の集落計画に関する基礎的研究 ・「北海道農村における生活圈構成に関する研究」(共著)日本都市計画学会昭和61年度学術研究論文集第21号 1986年 ・「農村市街地の現況空間構成と形成過程 北海道農村の中心集落整備に関する基礎的研究」(共著)日本都市計画学会昭和62年度学術研究論文集第22号 1987年 他 (2) 北海道農村の空間形成に関する史的研究 ・「北海道農村地域における市街地の発生過程と分布様態に関する研究」(共著)日本都市計画学会昭和62年度学術研究論文集第22号 1987年 ・「北海道開拓期における市街地区画測設の計画過程」(共著)日本建築学会北海道支部研究報告集61 1988年 他 (3) 小規模小学校の平面計画に関する研究 ・「小規模小学校における共有スペース設置型校の平面構成」(共著)日本建築学会昭和61年度大会学術講演梗概集 1986年 ・「小規模小学校のクラスルーム規模に対する教師の評価について」(共著)日本建築学会 1989年度大会学術講演梗概集 1989年 他 (4) 高齢者福祉の施設計画に関する研究 ・「高齢者デイサービス施設の平面構成に関する研究その2.スペースの利用実態と平面構成上の要件」(共著)日本建築学会 1989年度大会学術講演梗概集 1989年 ・「道北地域における特別養護老人ホームの入所状況」市立名寄短期大学道北地域研究所報11号 1993年 他 (5) 福祉住環境整備に関する研究 ・「北海道農村における公営住宅の建築計画に関する研究その2.高齢者対象住宅のバリアフリー設計の実施状況」(共著)日本建築学会 1989年度大会学術講演梗概集 1989年 ・「道内市町村の住宅改修助成制度」日本建築学会北海道支部研究報告集77 2004年 他
---------	---

	<p>(6) 丘室（オカム口）の貯蔵性能に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「丘室型試験貯蔵庫の温湿度およびエネルギー消費量の実測結果 雪と寒さの風土にひきつがれる貯蔵の工夫その3」(共著)日本建築学会 1996 年大会学術講演梗概集 1996 年 ・「丘室型試験貯蔵庫における玄蕎麦の貯蔵試験結果 雪と寒さの風土にひきつがれる貯蔵の工夫その4」(共著)日本建築学会北海道支部研究報告集 71 1998 年 他 <p>(7) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新得町小規模小学校改築基本計画調査報告書」(共著)北海道農村集落研究会 1982 年 ・「北海道旭川市農村環境改善センター基本計画調査診断報告書 旭川市東旭川地区」(共著)(社)全国農業構造改善協会 1986 年 ・「農村アメニティ」北海道新聞コラム:「アプローチ」(7 回掲載)1991 年 8~10 月 他
学会活動	<p>(1) 日本建築学会 (1997 年~現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会農村計画委員会委員 (1994 年~2002 年、2004 年~現在) ・日本建築学会計画系論文査読委員 (2001 年) ・日本建築学会技術報告集査読委員 (2005 年) <p>(2) 日本農村計画学会 (1985 年~現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本農村計画学会評議員 (1998 年~現在) <p>(3) 日本都市計画学会 (1986 年~)・学術委員会査読委員 (2005 年)</p> <p>(4) 日本社会福祉学会 (2004 年~現在)</p> <p>(5) 日本地域福祉学会 (2004 年~現在)</p>
社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・更別村地域高齢者住宅計画策定委員会委員長 (1991 年) ・農村アメニティ推進委員会委員 (道農政部長委嘱、1991 年~1993 年) ・中標津町景観検討委員会委員長 (1992 年~1995 年) ・名寄市公共賃貸住宅再生マスタープラン策定委員会委員長 (1993 年) ・上士幌町公共賃貸住宅再生マスタープラン策定委員会委員長 (1993 年) ・北海道中山間ふるさと・水と土保全対策運営委員会委員(道知事委嘱、1994~2002 年) ・北海道景観アドバイザー (道知事委嘱、1994 年~2001 年) ・北海道住宅マスタープラン策定懇話会委員 (1995 年) ・中山間地域農林地整備計画策定調査手法検討委員会委員(平成 7 年度農林水産省委託、(財)日本土壌協会、1995 年) ・豊富町住宅マスタープラン策定委員会委員 (1998 年~1999 年) ・豊富中学校建築プロポーザル (設計業者) 選定委員会委員長 (2000 年) ・快適農村集落整備再編対策調査全体委員会委員 (平成 13 年度農林水産省委託、(財)農村開発企画委員会、2001 年) ・農村集落組織づくり支援検討調査検討委員会委員 (平成 13 年度・14 年度農林水産省委託、(財)農村開発企画委員会、2002 年~2003 年)
コメント	<p>主要な論文を 6 研究テーマに分けて記載しました。(1)北海道農村の集落計画に関する基礎的研究と(2)北海道農村の空間形成に関する史的研究、また、(7)にその一例を記載した「農村環境改善センター基本計画調査診断」のコンサルタント活動は、後の「北海道景観アドバイザー」や「北海道中山間ふるさと・水と土保全対策運営委員会委員」といった社会活動に結びつき、農村・農業事情に関するよい勉強機会となりました。(3)小規模小学校の平面計画に関する研究は、(7)の「新得町小規模小学校改築基本計画」策定作業を契機に始めた研究で、実践が先、理論が後になった例です。(4)高齢者福祉の施設計画に関する研究と(5)福祉住環境整備に関する研究は、本学(短大)に赴任して中断してしまいましたが、現在は社会福祉学科所属ですので、これからの私の主要研究テーマになります。(6)丘室(オカム口)の貯蔵性能に関する研究は、土と雪の熱性能を活かした伝統的な丘室に、簡易な冷却・除湿装置を設置し、玄蕎麦の通年貯蔵を試み成功した試験研究です。</p>

